みんなチュー目！ネン頭占い

みずがめ座 1月20日―2月18日生

春風に木々が芽吹いてくるような年。明るい希望に充(み)ちているが焦ると、せっかくの芽が伸び悩むことにも。常識をわきまえて。自発的行動は1年後が吉。前半健康に留意すれば後半から愛情運も恵まれ幸せ。

うお座 2月19日―3月20日生

氷に閉ざされた港が春になり活気が戻るような年。理性と感性が存分に発揮できるので、交友面、交渉は大収穫が望めそう。芸術、芸能面も良好、趣味も広がり楽しいが名誉を求めるのは無理。初夏と秋は健康注意。

子

「躍(らう)を得て蜀(しよく)を望む」。波乱含みの一年なので決断も大切、ただし適度なところで満足する必要あり。欲を深めると大失態に。謙虚さがカギ。見栄を張ったり時代に流されると自分を見失うことにも。常に「霞花の天」と思わぬこと。信念はまげないで。

丑

人生の分岐点となる時期。「鳩に三枝の礼あり、鳥に反哺(はんぽ)の孝あり」つまり肉親縁者のことを考慮した上での判断なら間違いなし。熟考を善しとし、どちらの道を選ぼうとも結果に大差ないはず。財運は平運、あえて平地に波瀾(はらん)を起こすことのないように。

寅

大きな変化は望まぬこと。転居独立は先に延ばす。慎重が肝心。自信過剰から自移りも。「良薬口に苦し忠言耳に逆らう」。信頼のおける年長者の言には耳を傾けること。契約ごとには堅実な態度で臨むことで失敗裏切りを避けることができるはず。

卯

将来に大望を抱くならば今年は決断の時。運気上でも発展期にあり上昇気運にのることで、登攀ろうと日々をしまれくことにも。高慢な態度、限度を知らぬ欲求は最大の敵。我をおさえることで順調な発展も可能。要注意は健康面。体力精神面ともに不安定、無理は禁物。

辰

「屋根越しの天の川」を見続けても得るものはない。現実を直視し足場を固めること。他人は他人、自分は自分「わが家業の釜蓋(かまだらい)」。家族とともにある幸せをかみしめる一年。収入増加を図るには副業に手を染めてみる。年の前半は充電に努め秋口立つべし。

巳

「我が心石にあらず」というが名言あり。この言葉に続くのはなぐ心を揺るがせない強い意思がカギ。好調ゆえに慣重さ必要。異性問題でこじれることにも。方向を誤ると悪化。夫婦といえども「落花情あれども流水意なし」の状態へ。

午

居を移す。新居を建てる。商いを始める。計画をあたためるは良し。実行は遅けるべし。独り合点は見えるところも見えなくなる。衆知を生かすこと。気まぐれは後悔するはめにも。「牡牛に腹突かれることもあり。賭(か)け事にうつつを抜かすと身代を揺るがしかねない。

未

我を非として当(むかう)ものは吾(わ)が師なり。耳障りのよくなき忠告をしてくれる人ほど親密な人なり。過剰な自信を抑え協調を尊ぶことで失敗してもすぐ回復に。金銭運きわめて好調。投機に走ると手痛い出費から身上を傾けたりも。危機管理が要諦ていの一年。

申

努力が成果を成し宣(よろ)しく結果が得られる一年。ここで気を緩めることなく更なる精進に努めるべし。「百尺竿頭(ひゃくしゃくかんとう)一歩を進む」。朋友よりもたらされた情報は信じるに足るはず。うまく活用して収入増につなぐ。そのためにも信頼は失わないこと。

酉

永遠相容れぬ一年。どちらが水でどちらが炭か識別するよりも両者の関係が水と炭だと認識する必要あり。選別作業をやり遂げる忍耐力が社会的地位を得るカギに。「栗(かん)雛辛苦が続く。乗り越えてこそ得られる成功。我が物と思えば軽し笠の雪」。健康管理要注意。

戌

いかに感情を抑えるか。目先の欲をどれだけ黙殺できるか。この二点を超越すれば長期的な展望が明確に描ききれるはず。夢を捨てるのは厳禁。籠(かご)の中の鳥さえ雲を恋う。熱意を持って取り組めば宮殿に穴をあけることも。「物は宜しき所あり材は施すところあり」

亥

一生を長いものと考えるのは誤り。「白駒(はっく)の隙を過ぐるが如し」。夢に向かって現実の一歩を歩み出す重要な年。まず情報収集を図る。自信を持って事業に取り組めば順風満帆収入もますます増加。辺幅を飾るのは控えること。身のほどをわきまえないと転落も。

竹村亞希子

<プロフィル>占いの玉手箱代表。講談社「フライデー」、名古屋テレビ「コケコッコー」などの執筆のほか、新聞、講演でも活躍している。人を見極めるコツ、人生や経営のチャンス獲得、成功の法則を伝承している。名古屋市東区葵1ノ26ノ10ノ406。